

8-5-6 C I M技術専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数：11回

講習会：9回

(2) 主な内容

国土交通省が推進している CIM(Construction Information Modeling)に関して、協会内で推進、普及することを目的として、①CIM 推進に関わる情報技術調査、②CIM 講習会の開催、③関連する対外委員会への参加を行った。

a) CIM 推進に関わる情報技術調査

平成 29 年度は、今後の CIM 普及に際して活用が見込まれる情報技術に関して調査を実施した。ドローンの活用については、委員による活用事例の紹介、レーザー計測については、ライカジオシステムズ社による各種技術解説、維持管理での CIM モデル活用に関しては、ESRI 社におけるハンズオン講習、VR(Virtual Reality) 活用については、Forum8 社による事例等の解説を受け、意見交換を実施した。

また、CIM 対応に必要なパソコンスペック調査を実施しており、今後、CIM 導入に際しての参考として取りまとめる。

b) コンサルタントへの推進方策の検討

平成 29 年度は、平成 27 年度より開催している講習会を国土交通省「CIM 導入ガイドライン」に合わせた内容とし、Autodesk 社 Civil 3D、InfraWorks を用いた基本操作を各 1 日ずつ、定員 20 人の CIM ハンズオン講習会を開催した。全体で 275 名の参加者となった(表-1)。

平成 27 年度より継続実施している受講者へのアンケート調査結果では、CIM に関する理解度や今後の活用意識が年々向上しており、次年度も引き続き実施予定である。

c) 関連する対外委員会への参加

以下の委員会へ参加した。

・ CIM 導入推進委員会

全体統括データ活用検討チーム 藤澤

CIM 導入ガイドライン要領基準改定 WG

河川サブ WG 零石

橋梁サブ WG 藤澤

・ 社会基盤標準化委員会 特別委員会 藤澤

2. 次年度の活動について

本年度の活動を継続し、①CIM 推進に関わる情報技術調査、②CIM ハンズオン講習会の開催、③関連する対外委員会への参加を行う。

(C I M技術専門委員会委員長 零石 和利)

表-1 CIM ハンズオン講習会

会場		1日目 土工編	2日目 構造物編	会場		1日目 土工編	2日目 構造物編
東京	5/8, 9	24	23	福岡	6/22, 23	21	18
広島	5/18, 19	9	6	札幌	6/29, 30	20	10
新潟	5/23, 24	10	10	仙台	7/5, 6	19	16
名古屋	6/1, 2	19	16	高松	7/27, 28	5	7
大阪	6/14, 6/15	21	21	合計		148	127